

つぎの 文しょうを 読んで、もんだいに 答えましょう。

夏まつりで、金魚すくいをした。ポイがすぐにやぶれて、一ぴきもすくえなかった。

しょんぼりしていると、お店のおじさんが、小さな赤い金魚を一ぴき、ふくろに入れてくれた。

「大切にしてくね。」

家に帰って、水そうに金魚を入れた。金魚は、すいすいと元気におよいでいる。

「名前を、何にしようか。」

お姉ちゃんは「ヒラヒラ」がいいと言う。弟は「あかちゃん」がいいと言う。

ぼくは「まつり」がいいと思った。三人とも、ゆずらない。

すると、お父さんが言った。

「金魚は、何とよばれたら、うれしいかなあ。」

三人で、水そうをのぞきこんだ。金魚は、赤いおびれをひらひらとふって、こちらを見ている。

「やっぱり、ヒラヒラかな。」

ぼくが言うと、弟もうなずいた。お姉ちゃんが、にっこりわらった。

金魚の名前は、ヒラヒラになった。

(このもんだいのための書きおろし)

(一) 金魚すくい、ぼくはどうでしたか。文しょうから十五字まで書きぬきましょう。

--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--

(二) 「三人とも、ゆずらない」とありますが、どういうことですか。ア～ウから一つえらびましょう。

ア みんなが、同じ名前にきめていた。

イ だれも、名前を考えていなかった。

ウ みんなが、べつべつの名前をいって、ゆずらなかった。

--

(三) お父さんは、何と言いましたか。文しょうから二十字まで書きぬきましょう。

--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--

(四) 三人が「ヒラヒラ」にきめたのは、なぜですか。三十五字まで書きましょう。

--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--